

難病を生きる

— 共鳴しあう創発的な社会へ —

「他者が期待する、私という障害者の社会的役割」

立正大学人文科学研究所 客員研究員

船後靖彦

24歳で専門商社 酒田時計貿易（株）に入社。41歳で ALS（筋萎縮性側索硬化症）を発病。全身麻痺。人工呼吸器装着。歯で噛むセンサーで PC を操作し、歌詞・詩・短歌・俳句・童話等を創作。現在、福祉事業（株）アース取締役サービス付き高齢者向け住宅名誉施設長。立正大学人文科学研究所平成 25 年度共同研究（B）客員研究員。湘南工科大学テクニカルアドバイザー。上智大学非常勤講師。著書に『生きる力』（共著、小学館、2008 年）、『三つ子になった雲』（日本地域社会研究所、2012 年）、『死ぬ意味と生きる意味』（上智大学出版、2013 年）共著、など。

「走り続けん いまこの瞬間（とき）を！」

船後靖彦音楽仲間

大津弘之

「ネフローゼ症候群の少女 りんちゃんの物語」朗読コンサート

ふなご シスターズ

長編童話『ずななっばーや と！』より

作：船後靖彦

絵：和泉裕紀子（立正大学卒業生）

【日時】

2013 年 12 月 7 日（土）

【会場】

立正大学大崎キャンパス 11 号館 1151 教室

【時間】

12:30～14:30

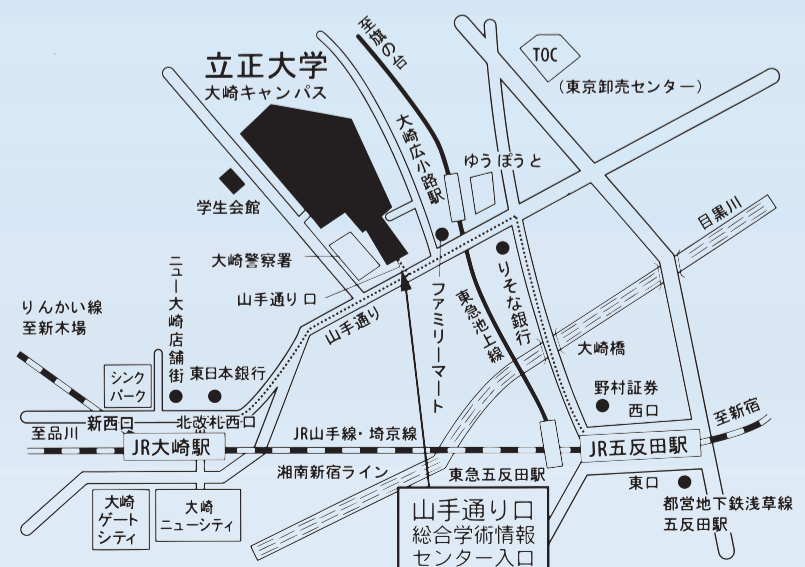
※参加費無料・予約不要

※車椅子等の方は下記までご相談ください。

【問い合わせ】

立正大学文学部哲学科 教授 田坂 さつき

Email : itpsl@ris.ac.jp



※駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

